



発行 真宗大谷派名古屋教区内有志  
災害ボランティアネットワーク

2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。本会の活動へのご支援、何卒宜しくお願い申し上げます。ご支援については、「一如さん（毎月12日）」での募金、もしくは下記口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志  
災害ボランティアネットワーク【ゆうちょ  
銀行振替口座 口座記号番号】  
00800-8-174946  
【支店名】名古屋橋

【「想像を絶することばかり」もっと知るべき、原発事故後の4年間とこれから。  
「福島と名古屋をむすぶ子ども会」学習会 岡本誠さん講演会】



震災の年から毎年、福島県二本松市・同朋幼稚園の園児家族を招いて東別院で合宿・交流を行う会「福島と名古屋をむすぶ子ども会」が開催されています（本会も全面協力）。それに向けて、12月2日、私たちの課題として原発問題を学ぶため、一家で名古屋市へ自主避難されている岡本誠さん（原発事故被害者支えあいの会「あゆみ R.P. Net」幹事）のお話をお聞きしましたので、感想をお伝えいたします。

「福島から自主避難されている方の貴重な体験談を聴くことができました。当時の凄まじさ、必死に生きてきた計り知れないつらさ、名古屋へ避難できても尽きない苦悩。次から次へと出てくる細かな具体的な内容はマスコミで報道されていない想像を絶することばかりでした。その訴えには当事者ならではの迫力があり、私たちの耳に届いていない声こそ肝心の訴えだと感じ取りました。

この切実な思いを受け止め、毎月12日に東別院へ足を運んで、募金をしてくださる方々のあたたかい気持ちと被災者の架け橋になり、今私たちでらボラにできることは何かを見つめ直しながらこれからも世間に発信し、活動を続けていきたい。」 山城結希子

【震災！その瞬間、あなたはどう動く？—自己点検（セルフチェック）③—】

**地震直後！「繁華街を歩いている時、あなたは、どうしますか？」**



○○○から身を守り、ビルの倒壊にも注意しながら、○○など安全な場所へ。余裕がない場合は、新しい○○○○○に逃げる。地下街では○や○のそばで揺れが収まるまで待つ。

○○に入る言葉、わかりましたか？→裏面へ

【被災された方々とあなたをつなぐ

“いのちのよびごえ” カレンダー2016 できました！！】



2013年版から毎年作り続け、東日本大震災により今なお大変な暮らしをされている方々に届けてきた“いのちのよびごえ”カレンダー、今年も完成しました！！

カレンダーには毎月“ことば”が掲載されています。でらぼう会員自らが感銘を受け、その身に聞き受けた“いのちのよびごえ”です。不便な仮設での暮らしや、亡き人に一人思いを馳せる時間、先の見えない不安感、それでも前を向きたいと願う現地の方々の心情に耳を澄ませて、届けたいと願い、選びました。

このカレンダーは現地に無償配布しております。そのため少々高いですが、愛知のみなさまには【一部1,000円】で販売いたしております。一部お買い求めいただければ、一部無料で現地へ配布できる仕組みです。なにとぞ販売のご協力をお願い申し上げます。

※名古屋教務所、教化センター、別院教化事業部にサンプルあります。お求めは名古屋教務所2F 教化センター（大河内）まで！

印刷以外は、  
会員の手作りです。  
不器用な人もいますが。。

## その瞬間、あなたはどう動く？—自己点検（セルフチェック）③—

### 「繁華街を歩いている時、あなたは、どうしますか？」

東京都が発行した『東京防災』では、「落下物から身を守り、ビルの倒壊にも注意しながら、公園など安全な場所へ。広い所に逃げる余裕がない場合は、耐震性の高い比較的新しい鉄筋コンクリートのビルに逃げ込みます。人混みで最も怖いのがパニックになることです。人の多い場所こそ、冷静な行動が求められます。」と記しています。

また、地下街の場合、「停電で多くの人々がパニックになり、非常口に殺到すると負傷の危険があります。落ち着いて落下物から身を守り、柱や壁のそばで揺れが収まるのを待ちます。」ということです。あなたの大切な人にも、どうかお知らせ下さい。

とにかく  
安全な場所に移  
動して、揺れが  
収まるのを  
待つ！



暗い中で  
パニックに  
なるのが、  
危険です！